

刊夕 日一十月七

常警每日新聞

定価一冊五錢 一月五拾五錢 郵費五錢
廣告料五錢 十二字五錢 一行五拾五錢
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日印刷株式会社

六地藏六観音

眞 繼 雲 山

記者、記者、記者を三者とすれば、醫は仁術とあつて他人の命を助けるが本職であり、使命として最も尊い。然し醫者は病氣を治すのではなく、生物は本来、真如のはたらき、佛のお慈悲として治癒すべき本能をそなへてゐるので、醫者はホンの助縁に過ぎない。病氣は佛様に治させておいて高い薬代は醫者が持つてゆくのであるから、藥九層倍といふも實は、元子ぐるみの話。詮じつむれば佛様の動功を失敬してゆく横領事犯といふことになる……これは失敬。

記者は昔は河原乞食といふたが、近世では藝術家といふことになり、芝居は綜合藝術ぢやとか何んとかいふて木戸銭を出したお客さまが平土間から拜でくれる役者となか／＼馬鹿にはするべからず。

記者といへば、先づ新聞記者を意味し、記者、役者と違ふて年中貧乏神と道づれであることを常例とするも表面、社交界の花形たるにおいて、役者の右翼に位する。や何々式だ、祭典だ、宴會だといへば記者、役者

は一々呼ばれないが先づは何は措いても新聞記者を招待するといふのは表面、敬意を表してゐるのであるも内心はアトの祟りが面倒だから也。

ひとしく人に嫌はるゝものに、刑事と新聞記者と保険の勧誘員とあるも、勧誘員は頭を下げたきりで、腰の刀がないから脅しが利かず。刑事巡査は薄気味悪く、刑罰巡査は薄気味悪く、いばかりで更に風味なし。そこへゆくと新聞記者はこなしやうで融通がきくから満更ら捨てたものでなく、藝者が座敷にモテるくらゐの程度には、記者も社交界にモテねばならぬ筈であるそれがモテないといふのは貧乏づらがよく／＼極端だから也。


斯く申す拙者も、その昔學窓を出るや出ぬ頃から記者の仲間入りをして、着手記者生活の體驗が無いでもない。成る程なか／＼面白かつた、宴會といふ宵會には招かれるし重役までが藝者と一緒になつてチャホヤ言ふてくるし、それで有頂天になつて一生を過こし得るものは幸ひだが、婆ア藝者が悲惨である如くに、四

十づら下げて種取りに、うろつくといふのは女房が見てもあんまりよい格好でない。それに私の如く生來ひとへに静寂を欲する癖あるものに取つては、秋の水のやうに世間人の心の奥府がスッキリと見え透くやうになつてからは、記者生活に何の興味も見出だせないやうになつた。尤も天下の操縦者には記者、役者以上に重大なる使命もあるべきを知るも、私には別に天分の世界が興へられてゐることに氣付き、翩然、市井に隠れて以來、十年の歲月は疾く／＼過ぎ去つた。

新聞記者といふ腰の一刀を拂ふて丸腰の一平民に還元して見ると、さても現代の政治も、社會機構も、如何にそれが肩書萬能の差別制度に過ぐるかといふことがよく分る。無名のペン／＼草、名もなき市中の小商工業者や農民は税金を差し押へられて、眼をしはたいてゐる以外に、一向取り柄のないものである。セメテ何々議員にでもと狂奔することに露、無理があるものか。

氣の毒な無名のペン／＼草として、汗と脂と涙とにまみれてゐるといふことなら私一人が物權階級の上層に迎合してペン／＼草を足蹴にかけるといふことが、罪悪でないまでも、何とはなしに相濟まぬやうな氣がする。磨げられたる者のドン底生活に伍して共々に苦患を嘗める——救ひ得ぬまでと期するところに、慈悲に

産名城磐 出賣大節鯉



魚問屋

店代理平命生本日本最優最 榮盛賀志 番一三二電 目丁四平

初夏サロンの新装

店内清楚にして氣持良く

- アイスクリーム 十五錢
- タンク入りソーダ水 十五錢

ドーゾ御用命を……

田町 サロン

電話……三五二番

金銀 高價買入ます

プラチナ

平町田町丸新デパート 假營業所

根本時計店

涼味百パーセント菊地の白靴

お若いお方にノール型 最新角型はモダン好み お中年のお方は先細型

とてもシックで値が安い

当店自慢のリネンシュー

三、二〇ヨリ……五、〇〇マデ

菊地靴靴店

電話(呼)四三六

貸切の御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九二タクシーへ!!!

正札堂の夏服

- 黒セルセビロ上下 六圓ヨリ
- パンピースセビロ上下 八圓五十錢ヨリ
- ポーラーセビロ上下 九圓ヨリ
- ポーラー最上品三ツ組 拾八圓五十錢
- 白ズボン 七拾五錢ヨリ

正札堂洋服店

電話四三六

外科

門線 X

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

月曜言論

花祭りの感激

失業者は街頭に充満し、人々は生活苦に喘ぐ、都部を通じて今や正にどん底時代を出現し、生きたが爲めの修羅場は陰惨な空気を孕んで物凄じいばかりである此の生活苦、社会苦の現象は家庭に於ける兒童の脳裡に迄も反影し、廻らぬ口に『不景氣』をかこつ……吾人は想ふ、彼等いとけなき者の魂を此の苦惱に依つて傷けざらん事を……彼等は此の世に大きな望みを描いて日毎に伸びつゝある、若し彼等が此の世を八苦の娑婆也と断定し、此の世に希望を失ふ事あらば、そは思ふだに戦慄に耐えぬものがある。

情操教育の必要は此處に起る、現代の教育の通弊は知識の練磨にのみ主力を傾注し、徳育即ち魂の教育が屢々閑却され勝ちな處にある。此處に留意して各學校は今や情操方面の涵養に大きな努力を拂つて居る、平第二小學校が最近花の精を祭る學藝會を開いた要旨も此處に在ると思ふ、然も同校は此の精神を直ちに社会的運動に移した、即ち幼い女生徒に花束と贈り物を持たしめて病院の患者訪問を爲さしめた事である、此の乾き切つた世の中に何んと云ふ麗しくも感激に満ちた情景であらう、病める者に恵む此の舉は必らずや驚くべき

世の多くの人に濡ひと喜びを與へた事であるに違ひない、そして此の舉を通じて生徒の脳裡に植え付けられた印象は一生を通じて、どんなに大きな効果を齎らすか同様に知れぬものがある、茲に筆者は父兄に代つて津田校長に深謝の誠意を披瀝する。

組合員は増したが業績は香しからず

郡下の信用組合

石城郡本年度上半期に於ける産業組合成績を見ると昨年度の廿六組合中上遠野大野兩組合の解散で廿四組合と減じたが組合の趣旨徹底と共に加入者は増加したが業績は不況の打撃で餘り香しいとは云はれず昨年度との比較左記の如くである (括弧内は昨年度分)

△組合員數八〇〇六人 (七八八八人) △出資額八四五二七五圓 (八三三二八五圓) △購買高一五六一三三〇圓 (一一〇二〇九圓) △販賣高一三三三三九圓 (一八六四三三圓) △利用料五六五九圓 (八八六七圓) △預金一四八四九六圓 (一九九〇八六圓) △借入金四〇七一八圓 (四三三三〇二圓) △貸付金一三三六九四圓 (一三二〇六七〇圓) △現金三二七五七圓 (三三四四五圓)

幕の内橋渡り初め

昨日盛大に舉行さる

既報平町仲間町より平窪村字幕の内に通ずる幕の内橋は此程竣工を見たので昨十日午前九時より平窪村主催

養蠶家を招いて繭質改善の懇談

石城郡販賣利用組合では来る十一日午前十時より四倉藩市場に於いて各養蠶組合長を招集夏秋繭の共同出荷並に品質改良等に關する懇談會を開會する事になつた

庭球も

磐中優勝

昨日の練習試合

磐城中學校及び平商業學校

縣下大會の

出場選手

廿二日に出發

磐城中學校及び平商業學校野球部にては来る二十二日午後八時五十分にて部長引率の下に縣下大會に出場するが當日は午後一時より安積中學校會議室に於て各學校部長並にキャプテン打合せ會を開き夫々組合せ等が決定されると

受驗者の

夏期講習

磐中同窓會が

磐城中學校同窓會にては来る二十三日より二週間在學生又は卒業生の上級學校入學志願者の爲め國語、漢文、英語、數學の夏期講習會を開くと

藏持分團協議

石城郡鹿島村字藏持青半分團員は来る十五日午後一時より分團長方に於いて協議會を開き役員の改選を行ふと

運動靴は……

月星

品質は斯界の王 名入れ金具付きの

サーピス

平田町

大塚運動具部

電話七七番

石炭の大特賣

塊炭 正味十貫目 金貳拾錢

『品方良ク』『値方安ク』

『目方ハ正確』『テス』

トニカク一度……

使ッテ見テ下サイ

配達ハ一俵ヨリ致シマス

御注文ハ

電話三七番

平驛前

阿部石炭商店

例年の通り

氷水始めました

多少に拘らず御用命御引立の程願上ます

アイスクリーム(山盛) 金十錢
あづきアイス(同) 金五錢
ミルクケーキ(同) 金十五錢
ソーダ水 金十錢

其他氷水各種

出前迅速

藤寅

電話一四二番

御料鹽豚

田町 三二二三屋

電話三二三番

磐中大勝

平商活氣なく ファンが失望

昨日の對校野球戰

既報磐中對平商の野球戰は昨日午前十時より磐中グラウンドで石坂(球)織田、水竹(壘)各審判のもとに磐中先攻したが平商投手不振と外野のエラー續出で磐中最初より斷然得点し平商は磐中投手に牛耳られて活氣なく安打も散發したが二回以後は兩軍共巧守巧打して投手戰を演じ平商は六回に磐中捕手のエラーで僅に一点をあげたのみで八九回磐中最後の攻撃に再び外陣を亂して五点を許し最初より戰鬥力のない平商はストロートの優勝を一朝にして失ひ一般ファンを失望せしめた

平 坂邊木原木星田本川
赤渡鈴菅佐野沼根限
投捕(二三遊右中左)
浦田中野成戸平田田
山井井田
杉下田款金小大戸中

本會

便乗者 決定す

既報本月廿一日小名濱に入

郎(青年團)後藤桂仙 谷口長治(教諭)日野良太郎 田中金三朗(議員)千葉彦治 二吉村安次郎 吉田寅之助 萩原義雄(官公吏) 伊藤儀七 小林清吉 木澤常松 鈴木丑松(軍人遺族) 渡邊政平

公開さる

滿蒙大激戰

第二師團に從軍撮影した「滿蒙大激戰」全十巻は福島民報平支局主催の許に本日から世界館に於て公開されるが十四日迄晝夜開演の筈にて入場料は廿錢國民たるもの一人も見免す能はざる名映畫である

剣道

階級試験

磐中に於いて

磐城中學校に於て来る三十一日及び八月一日の兩日縣下中等學校生徒に對し剣道の階級試験施行せらるゝが試験官は中等學校剣道教師代表島田兵記氏外二名である

貸金を

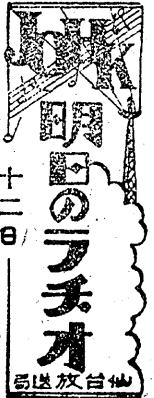
取立て逃走

田村郡小野新町字新町雜貨商渡邊重吉方使用人茨城縣多賀郡助川町生れ福田甚藏(三〇)は本月七日主人の命令で取立てた貸金百三十圓餘を横領行衛を晦したが同人は石城郡内郷村の親戚を頼つて潜伏中らしいと本日平

遊興代に

他人の自轉車

石城郡神谷村大字中神谷字瀬戸七四夏井五郎の兩親の肖像畫を製作すべく去る六日より滞在中であつた宮城郡柴田郡金ヶ瀬村字平生れ當時石城郡湯本町字寶海居住自稱畫家村上源太郎(三三)は八日午後六時頃五郎の不在中他人の實父福治(五五)より自轉車を借受け平町南町の朝鮮料理趙春方にて四圓八十錢を飲食したが代金の支拂に窮し右の自轉車を勝手に抵當としたので本日



明日のラジオ

今晚は北よりの風小雨明日は南東の風曇り勝ち時々薄日もさす

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
ピアノと歌 宮城女學校生徒
後六、二〇 コドモの新聞
櫻葉勇
後六、二五 カレントトピックス
ハロルドパーマー

平撞球競技

平撞球競技 平撞好會主催創立第一回撞球競技大會は平撞球場に於て昨日午前十時より開催されたが競技の結果左の如く入賞した

- (本賞)一等箕輪爲吉 二 等小山田吉治 三等佐川傳事助 四等比佐三郎 五等松本孝太郎 以下十等まで
- (猛者賞)一等山田良一 二等佐々木武貞 三等上川由利 四等高木喬 五等大橋保雄
- (殊勳賞)一等武田徳治

十三日會の講演

平十三日會にては来る十三日午後七時よりマルトモホールにて開催辯護士安齊勝美氏の「指紋の話」と題する講演ある由

殺人事件言渡

石城郡飯野村大字上荒川字林作四十八番地鈴木トヨ(三三)に對する殺人事件の判決言渡しは来る十六日午前九時の處裁判所の都合に依り十八日午前九時に延期された

書と方豫選結果

ライオン本舗に應募

平第二小學校にては此程ライオン本舗の書方懸賞に應募する爲め去る九日尋常科第二學年以上の生徒に對し豫選を行つたが入選者は左記の如くにて本日より蛭田、松本、熊谷各訓導指導の下に練習なし更に嚴

明日の部

前九、一〇 料理献立「炒鳥」松本良雄
前一〇、三〇 家庭講座「外科的結核に就て」醫學博士高學令三
後〇、〇五 錦琵琶「教盛」鶴田櫻洲
後二、〇〇 家庭大學講座「俳句と云ふもの」概念「後六、〇〇」子供の時間

八坂神社祭禮

平町揚土臺縣社境内に鎮座する八坂神社の祭禮は来る十四十五の兩日盛大に行はれるが餘興として花火其他がある

平職業紹介所報告

回求人部
△女中 三十才以下 尋卒 月三圓外チップ(平町某)
△兒守 十四才 尋卒 仕着小使(平町某)
△店員 十八才迄 高卒 給料面談(夏井村某)
△回求職部
△自動車助手 二十才 佑賢卒給料面談(鹿島村某)
△雜夫 二十二才 高卒 給料面談(秋田縣某)
△土工 四十六才 尋卒 給料面談(磐崎村某)
△女中 十九才 尋卒 給料面談(平町某)

八坂神社祭禮

ユース 氣象通報 生齋相場 番組豫告
命「大國主命と少彦人命」神根慈生
後六、二〇 コドモの新聞
櫻葉勇
後五、二五 カレントトピックス
ハロルドパーマー

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第九十八席 眞庭念流達人櫻井五助

男を上げた林藏

秋山は藤太の鬚の刷毛先を五六分切つて

要「これで鬚を詰めてしまつたツア早く行けッ」

と突出してしまつた。人を馬鹿にした仲人があるのです。秋山要介は呆氣に取られて無言のまま、此方を見て居る岩手の角一、廣澤村の兵右衛門、鯉澤の藤兵衛、神興村の三右衛門を初め甲州の俠客をズツと見渡した

要「これで云ひ分はあるまい、貴様達の面前にて藤太郎の鬚をつめた。然らば貴様達の顔は立つたどうぞこれで笑つてくれ」

岩手の角一も驚いた、鬚をつめたにした處で刷毛先を五六分切つたばかり、然し何寸切つてくれと云ふ此方から請求もしなければ向ふても何寸切ると云ふ約束もしない、シテ見れば五分切つたところで六分切ればとて鬚をつめるには相違無い。それではつめたが足りぬと云へば一旦それで承知をして置きながら故隙を云ふやうに當るどうも仕方がない、茲は林藏と秋山に任せようと恚う思ひ



角「いろ／＼先生にお手数をかけまして何んともお禮の申しやうもございませぬ又林藏どんにも心配をさせて濟まなかつた、有難うございませぬ」

早く引揚げよと思ひ要「サア林藏、もう川事は無い引取れ」

頼んだと、馬鹿にして居やが。秋山は腰が抜けたが、平素親分達のところへ食客をして小遣を貰ひ、先々々々と尊まれ、不自由なく日を送つたその恩を忘れ甲州の奴等の面を立つてこちらの面を踏付けにすると恩知らずだ、藤太郎の鬚をつめてこの喧嘩が鎮まつては上州方は全敗だ、馬鹿にしやあがつて秋山が來たら叩つ斬つてしまへ」

騒ぎはこれで鎮まりましたさて赤尾の林藏が大野の喧嘩を仲人して無事にこれが治り血を見ずに濟んだと云ふところでイヤ評判の好い事、その實秋山要介が治めたのであります、最初に林藏が子分も伴はず只一人甲州方の控へた本遠寺に來て白刃の中に身体を賭り茲は任してくれろと頼みました、その肝の太さに一同感心して實に林藏は好い度胸だど大層賞め立てる、所の商人もあの人のお蔭で喧嘩にならずに濟み安穩に稼業が出来る有難いと神か佛のやうに尊みます。

度い、コレ林藏、貴様もこの喧嘩に仲人をして男を上げて芽出度い、能く禮を云へ」

て来る、こんな事とは知らぬ藤岡の慶助は人数を揃へ甲州方の控へた本遠寺へ押寄せらるばかりに支度をしてゐる。

秋山先生が藤太郎の鬚をつめるからこの喧嘩は林藏に任してくれ、岩手の角一に

○「どうした、何に、秋山先生が藤太郎の鬚をつめるからこの喧嘩は林藏に任してくれ、岩手の角一に

時計眼鏡

ト キ ワ ヤ
ト キ ワ ヤ
平一・電三三九

貸切は●●●

セダン揃ひで

貸切専門の

昭和タクシーへ

電話三四三三

耳鼻咽喉科専門

増田醫院

平南町 (電話四八二番)

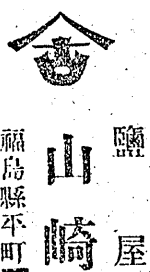
セメント 磐城セメント株式会社

壁用材料 代理店 西村屋薬舗

ペンキ塗料 板ガラス 平町二丁目(電三)

お醤油は ヤマフル

醤油味 贈
たひら 正宗
鯉節 食料品



山崎合名会社

福島縣平町(電話營業部)醸造工場
明治生命磐城代理店 山崎與三郎